

新春に際し

謹んでお慶び申し上げます

旧年中は大変お世話になり

誠に有り難うございました

本年も 旧に倍するご指導ご鞭撻を賜りますよう

よろしくお願いいたします

令和五年 正月

寝屋川市議会議員

板東敬治

一般質問

今期4年間での最期の一般質問（＝個人質問）の機会となります。
7つの項目で質問しましたが、その内3つは市民からの意見を代弁する形での質問です。（裏面参照）

SDGs 持続可能な社会への取り組みについて

議員初当選以来、「持続可能性」を意識した提案を重ねてきました。

近年、持続可能性の象徴的な取り組みが「SDGs」です。そのSDGsには「環境」「経済」「社会」が必要な3つの要素と言われていることから、それぞれの分野に関する取り組みについて質問しました。

環境

気候変動によって、2100年には大阪湾の平均海面水位の上昇（25～62cm）が想定されています。本市域は海拔が低い地域が広がり、河川の感潮区間など懸念材料があることから、大阪湾岸への取り組み方針などを確認しました。大阪府では、過去の雨量データの検証を行う予定で、必要に応じて河川整備計画の変更を検討するみこみです。本市では、それを基に用水路の護岸のかさ上げなどを検討することになります。

経済

市内産業の支援を目的とした「産業連関表」の作成を提案しました。市が財政出動をする事業やイベントなどによって、どのような市内産業にお金が流れているのか。さらに、どれだけの費用が市内事業者と取引されているのか。そのような経済効果、波及効果を測る物差しですが、今現在ありません。国や都道府県に比べ、規模の小さな市の取り組みでは精緻なものとはなりません。政策立案の判断基準にはなり得ます。その基準に「市内産業への貢献度」を取り入れるための提案です。

社会

「人」「地域組織」に関わり、非常に重要な分野な分野が「社会」であり、市の持続可能性を左右します。住民組織の最小単位である「自治会への支援」を取り上げました。近年は、自治会への加入率の低下傾向は全国的な課題となっており、その対策として「デジタル化」「活動の持続可能性の向上」「様々な主体間の連携」という3つの視点で質問しました。答弁を通し、取り組んでいる状況は確認できましたが、「寝屋川市」が地方自治体として持続的に存在するには、更なる改善が必要だと受け止めております。

“市民の声”を一般質問として市政へ

子ども向けホームページの作成

①市民からの指摘

小中学生には1人1台のタブレットが渡され、自由に検索できる環境が整った。しかしながら、寝屋川市がどのような町で、どのような歴史を持っているのか、各地域の特色や市役所が行っている仕事など、子ども達にとって年相応のデジタルコンテンツがない。

②現状の確認と他自治体の取り組み確認

市の中央図書館のホームページに「インターネットキッズ」という子ども対象のページがあるものの、他のホームページをリンクしているだけのもの。学校ごとにホームページがあるものの、情報は子ども向けというより保護者向けになっている。

③一般質問での提案

小学生・中学生が見て読んで分かる内容のデジタルコンテンツを、本市自らの手で、本市独自の情報として作成することを提案しました。その内容としては、副読本の「わたしたちの寝屋川」や「寝屋川市誌（市史）」「新聞記事」などを活用するなどの具体的な対応も合わせての提案です。将来的に、子ども自らコンテンツを作成・更新するようになれば、おもしろい取り組みになります。

市民体育館の音響設備

①市民からの苦情

体育館のマイクを通した声が、共鳴して「何を言っているのか分からない」という苦情。

②これまでの改善への取り組み確認

この問題は以前からあり、スポーツ大会の式に出席した折に経験しています。これまで複数の議員からも指摘されてきた内容であることから、どのように対応してきたのかを確認しました。

③一般質問での指摘と、改善への提案

「行政と業者で原因や改善方法を模索しているが、改善するには相当な経費が必要であること。また、それを行っても、改善するとは限らない。」との答弁がありました。

その答弁を受け、2つの提案をしました。

- ・体育館の共鳴を調査する専門業者に依頼し、より精度の高い調査と検証を行うこと。
- ・市民体育館は建設以来、大規模改造が行われず50年を迎えようとしている。天井・壁面を音響の共鳴を抑える構造とするため、早期に大規模改造を行うこと。

ゲートボール場の維持管理

①市民からの苦情

ゲートボール場の管理、使用申請などが一元化されておらず、要望がたらい回しになるという指摘。

②維持管理と運用についての現状確認

全てのゲートボール場の担当（高齢介護室）と、それぞれの維持管理、申請窓口などについて確認。ゲートボール場の公式発表数と、現在利用されている数が大きく違うことが判明し、原因を理解。

③一般質問で「所管換え」の提案

「所管換え」は複数の関係部署での調整が必要となることから、「現状が問題である」という意識を理事者側が共通認識に立たなければなりません。そこで、一般質問の場を活用しました。

ゲートボールを通し、様々な効用が競技者に期待されます。一方で、市域の限られたスペースを多世代が多目的で使用することで、その効果が大きくなることが推察されます。そこで、より効果的なスペースの運用と、維持管理上の問題にスムーズに取り組める視点で所管を換えるよう求めました。